

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）【案】

令和5年1月 日

協議会名：愛知県バス対策協議会

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)				
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績
03岡崎 10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	1 大沼	名鉄東岡崎駅 ～ 岡崎北高前 ～ 大沼	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・近隣市町のバスマップの配布 ・高齢者バスに対して補助金の交付 ・豊田市ガイドブック、みちなびとよたに掲載	A 補助対象期間の開始日から、運休や大規模な遅延もなく、所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：36,984 実績：48,623 達成率：131.5%	17.3	15.6	2.8	5.6	20.4	29.0	両市を跨ぐ利用者の内訳は、通勤4.8%、通学0.0%、高齢者71.0%、定期外95.2%となっている。東岡崎駅の利用者、中心市街地への買物等のための利用者が大部分と考えられる。市町村を跨いでの利用者数は、13%（昨年度+6%）になった。豊田市から岡崎市への移動手段として一定の役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・感染対策等の安全性の周知 ・豊田市バスマップへの掲載 ・みちなびとよたへの掲載
03岡崎 10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	2 岡崎・足助	名鉄東岡崎駅 ～ 細川 ～ 足助	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・高齢者バスに対して補助金の交付 ・豊田市ガイドブック、みちなびとよたに掲載	A 雨害規制による通行止のため10本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：108,553 実績：120,995 達成率：111.5%	28.8	30.0	3.8	8.0	35.8	37.6	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤22.2%、通学17.8%、高齢者71.0%、定期外28.9%となっており高齢者の比率が高い。東岡崎駅の利用者、通学、通院、買物のための利用者が大部分と考えられる。沿線学校への通学利用のほか、香嵐渓への観光目的の利用もある。両市を跨ぐ幹線系統として重要な役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・感染対策等の安全性の周知 ・豊田市バスマップへの掲載 ・みちなびとよたへの掲載
10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	3 矢並	豊田市 ～ 矢並公民館前 ～ 足助	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・豊田市ガイドブック、みちなびとよたに掲載 ・観光シーズンにバス停案内や告知の掲示	A 雨害規制による通行止のため23本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：110,524 実績：112,166 達成率：101.5%	53.1	44.0	3.8	11.7	38.2	41.4	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤13.5%、通学32.4%、高齢者71.0%、定期外43.2%となっており定期外の比率が高い。豊田市駅の利用者、中心市街地への通院・買物のための利用者が大部分と考えられる。市町村を跨いでの利用者は20%程度で、郊外から豊田市中心部への移動手段として重要な役割を果たしている。また足助地区への通学利用や、香嵐渓への観光目的の利用も多い。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・豊田市バスマップへの掲載 ・みちなびとよたへの掲載 ・沿線観光資源と連携した利用促進策の検討
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	4 岡崎・安城	名鉄東岡崎駅 ～ 矢作橋 ～ JR安城駅	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・高齢者バスに対して補助金の交付 ・時刻表、マップ、活用ガイドを作成・配布	A 計画どおり運行が実施された。	A 目標：38,655 実績：43,020 達成率：111.3%	18.4	18.4	1.5	12.3	21.0	24.7	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤0.0%、通学7.4%、高齢者71.0%、定期外88.9%となっている。東岡崎駅、安城駅の利用者、沿線病院への通院、中心市街地への買物移動による利用者が大部分と考えられる。直近の利用状況調査では、安城市から東岡崎駅や岡崎市中心市街地周辺への利用が多い。	・Googleマップへの路線情報反映 ・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップ等の作成・配布 ・感染対策等の安全性の周知 ・運行事業者と連携した利用促進 ・観光施策等と連携した利用促進
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	5 日進中央	赤池駅 ～ 日進市役所 ～ 長久手古戦場駅	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・市HPでの周知 ・路線図、時刻表を市内各所で配布 ・名高バスの一般路線化を見据えた連携協定 ・市民アンケートの実施 ・イベントで公共交通利用促進を実施	A 台風19号の影響により5本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：92,160 実績：126,684 達成率：137.5%	52.5	63.0	4.2	15.0	52.3	56.9	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤10.4%、通学10.4%、高齢者71.0%、定期外74.0%となっている。リニモ駅及び大規模商業施設が近接することから、停留所2か所のみ長久手市と跨ぐ利用が約3割ほどと相対的に多い。日進市南西部の赤池駅と北部の長久手古戦場駅を結び、南北移動の軸となっており、交通結節点を結ぶ他、コミュニティバスとも接続し、幹線として重要な役割を担っている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・市HP、広報等での周知 ・市民アンケートの実施 ・公共交通計画策定の検討 ・利用促進イベントの開催
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	6 星ヶ丘・豊田	赤池駅 ～ 御岳 ～ イオン三好店アイモール前	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・時刻表を市役所窓口等で配布 ・近隣市町の利用促進イベントを市広報で周知 ・乗り方教室やイベント時に啓発品の配布 ・バスマップをイオン三好店に設置 ・イオン三好店と利用促進イベント実施協働	A 台風19号の影響により2本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：26,982 実績：33,944 達成率：125.8%	18.8	16.9	2.6	6.5	24.0	36.6	市町村を跨ぐ利用者の内訳は、通勤3.7%、通学2.5%、高齢者71.0%、定期外92.6%となっている。赤池駅の利用者、大型商業施設への買物のための利用者が大部分と考えられ、市町村を跨ぐ利用者の割合が高い。複数の大型商業施設への買物移動需要を支える他、赤池駅に接続することにより、広域移動を確保する重要な路線である。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・沿線市町の情報共有 ・市HP、広報等での周知 ・大型商業施設内にバスマップを設置 ・大型商業施設と利用促進イベントの実施

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】		輸送量(人)			収支率(%)			
							A:達成	B:未達成	R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数			R3実績
04一宮	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	7 一宮・イオン木曾川	名鉄一宮駅 ～ 木曾川庁舎 ～ イオンモール木曾川	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・一宮駅構内へバスのりば案内の設置 ・バスマップの更新・配布 ・1日乗車券の発売 ・期間限定で高齢者向けフリーバスの購入補助	A 計画どおり運行が実施された。	B 目標：60,500 実績：59,145 達成率：97.8% B 昨年の利用者数からは上回 り増加傾向であるが、コロ ナの影響により出控えがあ るため未達である。	25.2	25.2	2.4	10.5	37.2	35.3	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤2.9%、通学0.0%、高齢者77.2%、定期外73.3%となっている。尾張一宮駅、名鉄一宮駅の利用者、大型商業施設への利用者が大部分と考えられる。旧木曾川町住民の中心市街地及び鉄道駅への移動のほか、その他地区住民のイオン木曾川店への利用があると考えられる。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・バスマップの配布、1日乗車券の発行
07小牧・犬山・江南	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	8 岩倉	岩倉 ～ 藤島団地 ～ 名鉄間内駅	・沿線地区、沿線小中学校へのチラシ配布 ・路線図、時刻表の配布やHPへの掲載 ・市内事業所へのチラシ配布 ・イベントでの啓発活動	A 台風19号の影響により5本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：24,123 実績：24,982 達成率：103.6% A コロナと共存する新しい生活様式が定着しつつあるため。	25.2	13.2	1.1	12.0	19.2	19.5	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤11.6%、通学4.7%、高齢者77.3%、定期外74.4%となっている。岩倉駅の利用者が大半であり、定期利用が少なく安定した利用確保のために周知が必要である。小牧市北里地区の住民が岩倉駅、間内駅へのアクセス手段として利用しているほか、岩倉市の岩倉団地から岩倉駅までのアクセス手段としての利用もある。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・沿線地区、沿線小中学校へのチラシ配布 ・市内事業所へのチラシ配布 ・イベントでの啓発活動
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	9 愛知医科大学病院	長久手古戦場駅 ～ 愛知医科大学病院 ～ 尾張旭向ヶ丘	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・ルートマップや時刻表の配布 ・イベントで公共交通利用促進を実施	A 台風19号の影響により1本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：39,549 実績：47,636 達成率：120.4% A コロナと共存する新しい生活様式が定着しつつあるため。	24.3	16.2	1.4	11.6	23.0	23.6	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤12.1%、通学8.8%、高齢者77.7%、定期外74.7%となっている。愛知医科大学病院への利用が多いほか、沿線高校への通学利用もあり、南北方向の移動の軸となっている。交通結節点同士を結んでおり、幹線として重要な役割を担う路線である。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・市HP、広報、イベントでの利用周知 ・公共交通全般に関する市民懇談会の実施 ・公共交通計画策定に向けた検討
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	10 本地ヶ原	藤が丘 ～ 愛知医科大学病院 ～ 瀬戸駅前	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事を掲載 ・ルートマップ、時刻表の作成、配布 ・QRコードを活用したダイヤ検索 ・ルートマップや時刻表の配布 ・乗換え案内が記載されたルートマップを配布 ・イベントで公共交通利用促進を実施	A 計画どおり運行が実施された。	A 目標：73,902 実績：101,288 達成率：137.1% A コロナと共存する新しい生活様式が定着しつつあるため。	31.5	34.0	4.2	8.1	45.8	58.5	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤3.6%、通学8.9%、高齢者77.7%、定期外82.2%となっている。愛知医科大学病院への通院利用が多いほか、沿線住民の鉄道駅への接乗や買物の足として利用されている。交通結節点同士を結んでおり、幹線として重要な役割を担う路線である。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・交通エコライフの取組促進 ・市HP等での乗車情報等の周知 ・市HP、広報、イベントでの利用周知 ・公共交通全般に関する市民懇談会の実施 ・公共交通計画策定に向けた検討
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	11 ふれんどバス①	吉良高校 ～ 碧南駅	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・時刻表の配布、市広報やHPでの情報発信 ・市内高校へICカード・バスロケの導入の周知 ・刈谷バス停に自転車駐車場を設置 ・市内の公共交通を網羅したマップを制作 ・総合時刻表を制作 ・コロナ禍における安心安全なバス利用のPR	A 住宅火災等の影響により5本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：168,378 実績：119,454 達成率：70.9% B 現金・ICSF利用者は増加しつつあるが、当該路線の主な利用者である通学利用が減少した。	50.4	44.1	3.5	12.6	27.3	26.0	市町村を跨ぐ利用者の内訳は、通勤17.3%、通学60.1%、高齢者77.7%、定期外22.4%となっている。ほぼ全てが広域的な利用であり、沿線高校の通学需要が大半を占める。住宅地、駅、学校を結ぶ路線として通勤・通学に大きな役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・碧南市駐輪場わかりやすい情報提供 ・公共交通マップ、総合時刻表作成 ・多言語対応のパンフレット配布 ・感染症予防を実施したバス利用のPR
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	12 ふれんどバス②	吉良高校 ～ 碧南高校	・時刻表の配布、市広報やHPでの情報発信 ・市内高校へICカード・バスロケの導入の周知 ・刈谷バス停に自転車駐車場を設置 ・市内の公共交通を網羅したマップを制作 ・総合時刻表を制作 ・コロナ禍における安心安全なバス利用のPR	A 住宅火災等の影響により6本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：173,535 実績：132,180 達成率：76.2% B 昨年よりICSF・現金・通学の利用は増加傾向であるが、コロナによる新生活様式に伴う出控えにより未達。	52.0	41.8	4.5	9.3	30.2	31.1	市町村を跨ぐ利用者の内訳は、通勤10.5%、通学69.4%、高齢者77.7%、定期外20.1%となっている。ほぼ全てが広域的な利用であり、沿線高校の通学需要が大半を占める。住宅地、駅、学校を結ぶ路線として通勤・通学に大きな役割を果たしている。	・碧南市駐輪場のわかりやすい情報提供 ・西尾市・公共交通マップ、総合時刻表作成 ・多言語対応のパンフレット配布 ・感染症予防を実施したバス利用のPR
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	13 iーバス(一宮コース)	木曾川庁舎 ～ 名鉄一宮駅 ～ 市民病院	・一宮駅構内へバスのりば案内の設置 ・バスマップの更新・配布 ・1日乗車券の発売 ・GTFISデータの最新情報管理 ・バス停への予約制乗合タクシーの継続運行	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：73,430 実績：70,822 達成率：96.4% B コロナの影響により、公共交通機関の利用控えと考えられる期間があり、目標を達成できなかった。	29.8	29.8	2.9	10.3	28.4	31.3	旧市町村域を跨ぐ利用者は2,996人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。利用者は、沿線病院への通院、及び尾張一宮駅、名鉄一宮駅への利用が大部分と考えられる。	・バスマップの配布、1日乗車券の発行 ・バスの乗り方教室等PR ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標:利用者数】 A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)					
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数			R3実績	R4実績	
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	14	iーバス(尾西南コース)	萩原駅 ～ 尾西庁舎 ～ 萩原駅	・バスマップの更新・配布 ・1日乗車券の発売 ・GTFSデータの最新情報管理 ・バス停への予約制乗合タクシーの継続運行	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標: 36,125 実績: 33,038 達成率: 91.5% C コロナの影響により、公共交通機関の利用控えと考えられる期間があり、目標を達成できなかった。	31.2	31.2	4.0	7.8	12.1	11.8	旧市町村域を跨ぐ利用者は、350人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。利用者は、沿線病院への通院、及び萩原駅への利用が大部分と考えられる。	・バスマップの配布、1日乗車券の発行 ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・住民懇談会等の実施 ・バス路線やダイヤの見直し検討
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	15	iーバス(木曾川・北方コース)	木曾川庁舎 ～ 木曾川市民病院 ～ 木曾川庁舎	・バスマップの更新・配布 ・1日乗車券の発売 ・GTFSデータの最新情報管理 ・バス停への予約制乗合タクシーの継続運行	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標: 17,526 実績: 13,005 達成率: 74.2% C コロナの影響により、公共交通機関の利用控えと考えられる期間があり、目標を達成できなかった。	20.2	11.4	1.3	8.8	8.9	8.0	旧市町村域を跨ぐ利用者は、206人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。利用者は、沿線病院への通院、大型商業施設への買い物、鉄道駅の利用、他のバスコースへの乗継ぎが大部分と考えられる。	・バスマップの配布、1日乗車券の発行 ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・住民懇談会等の実施 ・バス路線やダイヤの見直し検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	16	おいでんバス(旭・豊田線)	小渡 ～ 広瀬 ～ 豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・沿線やなでの飲み物サービス ・各イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標: 64,811 実績: 80,446 達成率: 124.1% C 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	27.2	28.3	2.6	11.0	17.6	17.9	旧市町村域を跨ぐ利用者は全体の1割程度にとどまったものの、一定割合で郊外から中心部への通勤・通学手段として利用されている。	・沿線やなでの飲み物サービスの実施 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	17	おいでんバス(小原・豊田線)	上仁木 ～ 西中山 ～ 豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・各イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標: 131,606 実績: 157,909 達成率: 120.0% C 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	63.8	59.3	5.3	11.6	32.6	33.5	旧市町村域を跨ぐ利用者は全体の1割以下にとどまっているものの、一定割合で郊外から中心部への通勤・通学手段として利用されている。	・観光資源と連携した利用促進策の検討 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討 ・鉄道駅への接続(豊橋御平駅) ・四郷地区区画整理に対応した経路の検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	18	おいでんバス(藤岡・豊田線)(西中山経由)	藤岡中学校前 ～ 豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・各イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標: 77,612 実績: 101,216 達成率: 130.4% C 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	30.4	43.3	5.7	7.6	42.3	45.4	旧市町村域を跨ぐ利用者は、昨年度とほとんど変わらず約7割と高い割合を占めており、郊外から中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。	・鉄道駅への接続(豊橋御平駅) ・四郷地区区画整理に対応した経路の検討 ・イベントに合わせ周知や利用促進策の検討 ・高齢者定期券の普及
09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	名鉄バス(株)	19	あんくるバス(西部線)	新城駅南口 ～ 三河安城駅中央口経由 ～ 新城駅南口	・夏休み小学生無料乗車キャンペーンの再開 ・無料乗車キャンペーンの対象拡大 ・車内掲示、HP等での感染対策の周知 ・外国語版の時刻表・マップの作成・配布 ・バスロケーションシステムによる情報提供 ・多客期等に主要バス停へのバス案内人の配置 ・意見交換会の開催	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標: 61,000 実績: 53,266 達成率: 87.3% C 移動制限が緩和され回復傾向だが、生活様式の変化に伴い移動自体が減少したため、目標達成には至っていない	40.0	46.9	6.8	6.9	19.8	22.1	東刈谷バス停の乗車数は224人/月であり、広域的な路線として役割を果たしている。利用者は通勤、通学や沿線病院への通院、買い物のための利用者が多いと考えられる。東刈谷駅の周辺に在住の住民が、三河安城駅への移動手段として利用していることが想定される。	・バスロケーションを活用した利便性向上 ・観光施策と連携した利用促進 ・バス乗り方教室等による利用促進 ・地域住民とのヒアリングや懇談会の実施 ・アンケート調査や意見交換会の実施 ・地域公共交通計画策定に向けた検討
09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	名鉄バス(株)	20	あんくるバス(作野線)	新城駅南口 ～ 三河安城駅中央口経由 ～ 新城駅南口	・夏休み小学生無料乗車キャンペーンの再開 ・無料乗車キャンペーンの対象拡大 ・車内掲示、HP等での感染対策の周知 ・外国語版の時刻表・マップの作成・配布 ・バスロケーションシステムによる情報提供 ・多客期等に主要バス停へのバス案内人の配置 ・意見交換会の開催	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標: 61,000 実績: 53,548 達成率: 87.8% C 移動制限が緩和され回復傾向だが、生活様式の変化に伴い移動自体が減少したため、目標達成には至っていない	45.5	47.6	6.9	6.9	20.9	22.4	東刈谷バス停の乗車数は215人/月であり、広域的な路線として役割を果たしている。また、利用者は通勤、通学や沿線病院への通院、市外への買い物のための利用者が多いと考えられる。東刈谷駅の周辺に在住の住民が、三河安城駅への移動手段として利用していることが想定される。	・バスロケーションを活用した利便性向上 ・観光施策と連携した利用促進 ・バス乗り方教室等による利用促進 ・地域住民とのヒアリングや懇談会の実施 ・アンケート調査や意見交換会の実施 ・地域公共交通計画策定に向けた検討

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標:利用者数】 A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)					
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数			R3実績	R4実績	
09刈谷・安城・碧南・西尾10豊田	知立市	名鉄バス(株)	21	ミニバス(2コース)	知立駅 ～ 三河八橋駅 ～ 知立駅	・広報やHP等にミニバスに関する記事を掲載 ・公式LINEでの運行情報の掲載 ・各バス停にバスロケの利用方法の掲示 ・同一バス停の乗り場位置を掲示 ・消毒・換気の徹底等の感染症対策 ・豊田市バスマップに掲載	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画通りの運行が実施されている。	B 目標:33,315 実績:31,511 達成率:94.6% 移動制限が緩和され徐々に回復しているが、生活様式が定着しつつあり移動自体が減少したため、目標達成には至っていない	21.3	17.8	2.0	8.9	11.8	11.3	三河八橋駅バス停の利用者数は117人/月と推定され、昨年度から27人/月増加した。三河八橋駅バス停は前年度から最も利用者が増え、名鉄三河線を利用し豊田市方面への通勤、通学、買い物等の利用があり、多く広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。市町村を跨いでの利用者は4.6%にとどまっているものの、通勤・通学等の手段として一定の役割を果たしている。	・HPに他市バスを含めたモデルコースを掲載 ・HPや公式アカウントによる最新情報の提供 ・コロナ対策の徹底による安心乗車のPR ・R4年度の収支率目標を11.27%以上とする ・公共交通会議等での運行課題の検討 ・市バスマップに路線情報を掲載
09刈谷・安城・碧南・西尾	知立市	名鉄バス(株)	22	ミニバス(3コース)	知立駅 ～ 東刈谷駅 ～ 知立駅	・広報やHP等にミニバスに関する記事を掲載 ・公式LINEでの運行情報の掲載 ・各バス停にバスロケの利用方法の掲示 ・同一バス停の乗り場位置を掲示 ・消毒・換気の徹底等の感染症対策 ・豊田市バスマップに掲載 ・意見交換会の開催し、路線再編を検討	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画通りの運行が実施されている。	A 目標:61,625 実績:61,759 達成率:100.2% 通勤通学での利用者が多い	55.1	54.0	5.1	10.6	22.3	22.6	東刈谷駅北口バス停からの利用者数は、742人/月と推定され、昨年度より56人/月増加している。鉄道駅を介した通勤・通学や、刈谷市公共バスを利用した総合病院への通院への利用で広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。東刈谷駅周辺住民が大型商業施設や名鉄知立駅への移動手段として活用している。	・HPに他市バスを含めたモデルコースを掲載 ・知立駅前のマルシェで無料乗車券を配布 ・R4年度の収支率目標を22.57%以上とする ・公共交通会議等での運行課題の検討 ・アンケート調査や意見交換会を実施 ・地域公共交通計画策定に向けた検討
09刈谷・安城・碧南・西尾	知立市	名鉄バス(株)	23	ミニバス(4コース)	知立駅 ～ 野田新町駅 ～ 知立駅	・広報やHP等にミニバスに関する記事を掲載 ・公式LINEでの運行情報の掲載 ・各バス停にバスロケの利用方法の掲示 ・同一バス停の乗り場位置を掲示 ・消毒・換気の徹底等の感染症対策 ・豊田市バスマップに掲載 ・意見交換会の開催し、路線再編を検討	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画通りの運行が実施されている。	B 目標:29,097 実績:28,072 達成率:96.5% 移動制限が緩和され徐々に回復しているが、生活様式が定着しつつあり移動自体が減少したため、目標達成には至っていない	20.5	19.6	2.0	9.8	11.3	10.7	野田新町駅北口バス停からの利用者数は255人/月と推定される。鉄道駅を介した通勤・通学や、刈谷市公共バスを利用した総合病院への通院への利用で広域的な路線としての役割を果たしている。東刈谷駅周辺住民が大型商業施設や名鉄知立駅への移動手段として、ミニバスを活用している。	・HPに他市バスを含めたモデルコースの掲載 ・知立駅前のマルシェで無料乗車券を配布 ・R4年度の収支率目標を10.69%以上とする ・公共交通会議等での運行課題の検討 ・アンケート調査や意見交換会を実施 ・地域公共交通計画策定に向けた検討
05瀬戸・日進・豊明	日進市	名鉄バス(株)	24	くるりんばす(梅森線)	日進市役所 ～ 東名古屋病院 ～ 日進市役所	・市民意見を反映した路線改正案による運行 ・R12年度までの公共交通計画を策定 ・全体的な路線改正案の検討を実施 ・ワクチン接種時の移動を接乗券により無料化 ・イベント等で公共交通利用促進策を展開 ・商業施設と連携し利用促進イベントを開催 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事を掲載	A 事業計画とおりの運行回数が確保されている。	B 目標:36,322 実績:34,000 達成率:93.6% 前年度比3%増の利用者数となったが、コロナによる移動需要の変化により目標の達成には至らなかった。	17.8	12.8	1.3	9.9	12.6	13.0	市町村を跨ぐ移動は全体の6%程度であるが、平針駅及び池田駅を沿線に擁し、多数の利用者が鉄道を利用して広域移動を行っており、広域移動を支える非常に重要な路線である。	・全体的な路線改正案の検討を実施 ・グッズを活用した利用促進イベントの実施 ・HP・Twitter等を活用した公共交通の周知 ・収支率の目標:14.0%(1%改善) ・交通エコライフの取組推進
05瀬戸・日進・豊明	日進市	名鉄バス(株)	25	くるりんばす(五色園線)	市役所 ～ 長久手古戦場駅 ～ 市役所	・市民意見を反映した路線改正案による運行 ・R12年度までの公共交通計画を策定 ・全体的な路線改正案の検討を実施 ・ワクチン接種時の移動を接乗券により無料化 ・イベント等で公共交通利用促進策を展開 ・商業施設と連携し利用促進イベントを開催 ・市民アンケートの実施	A 事業計画とおりの運行回数が確保されている。	B 目標:58,220 実績:57,234 達成率:98.3% 前年度比6%増の利用者数となったが、コロナによる移動需要の変化により目標の達成には至らなかった。	18.8	18.8	1.9	9.9	15.1	14.1	全体の約7割が市町村を跨ぐ利用であり、交通結節点と日進市東部を結ぶ非常に重要な路線である。長久手市をはじめ、名古屋市や豊田市へといった、市域を超えた移動を支える非常に重要な路線である。	・全体的な路線改正案の検討を実施 ・グッズを活用した利用促進イベントの実施 ・HP・Twitter等を活用した公共交通の周知 ・収支率の目標:15.20%(1%改善) ・沿線市等と連携した路線の最適化 ・イベント等で周知
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	26	伊良湖支線(福祉C掘切)	渥美病院 ～ 保美	・「運賃営業所見学」の実施 ・利用促進パンフレットの作成、配布 ・夏休み小学生50円バスの実施 ・東三河バス整理券別・証解きぐーの実施 ・田原市内高校生への定期券購入助成を実施 ・福祉回数券等の交付 ・免許返納者に豊鉄バス元気バス引換券の交付 ・広報紙、イベントで利用促進のPR	A 新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため、令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画とおりの運行が実施されている。	B 目標:43,328 実績:34,370 達成率:79.3% 昼間の利用者が減少しているため、通院や買い物での利用者の減少が考えられる。	21.0	15.2	1.9	8.0	30.5	25.3	旧市町村を跨いでの利用が利用者のほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用者や沿線高校への通学利用が大部分と考えられる。	・バスロケーションシステムのPR ・田原市内高校生への定期券購入助成の継続 ・中高生にパンフレット配布
11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	27	作手	新城富永 ～ 作手高里	・バスマップの発行、全戸配布 ・通学利用の高校生のため増便を実施 ・デマンド型区域運行バスへの乗り継ぎ案内 ・高校生への満足度調査を実施	A 新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため、令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画とおりの運行が実施されている。	B 目標:49,772 実績:48,791 達成率:98.0% 沿線高校の学生数の減少により定期利用者は減少したが、定期外利用者は、移動制限が緩和され回復傾向にある。	23.7	18.6	3.1	6.0	69.3	64.0	旧市町村を跨いでの利用が利用者のほぼすべてを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、沿線高校への通学利用や新城市市民病院への通院、新城駅への鉄道利用が大部分と考えられる。	・バスロケーションシステムのPR ・デマンドバスも用いた観光プランの周知 ・作手地区内の住民へのPR

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標値:利用者数】		輸送量(人)			収支率(%)					
							A:達成	B:未達成	R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数			R3実績	R4実績	
11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	28	新城病院 上平井田口	新城市民病院 ～ 田口	観光地のPRを兼ねたチラシを作成・配布 夏休み小学生50円バスを実施 東三河バス整理券引- & 謎解きゲームを実施 利用者の状況によりマイバス時刻表を作成 観光企画切符を長久手市や名古屋で販売 関係者間で利用促進策について検討 総合時刻表を田口BT、役場窓口で配布 町民に対し田口高校へのバス通学費全額補助	新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため、令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標: 28,964 実績: 32,084 達成率: 110.8%	A	15.8	12.4	1.6	7.8	35.1	21.6	旧市町村を跨いでの利用が利用者の半数以上を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、沿線高校への通学利用や新城市民病院への通院、本長篠駅への鉄道利用が大部分と考えられるほか、JR本長篠駅での乗り継ぎによる豊川市方面の高校へ通学利用もある。	バスロケーションシステムのPR 高速バスと連携した旅行プランの作成 道の駅したらへの交通手段としての周知 イベントでの公共交通のPR 田口高校への通学利用促進策の検討 観光施設への誘客
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	29	伊良湖本線 (渥美病院 休暇村明神)	渥美病院 ～ 伊良湖岬	「渥美営業所見学」の実施 利用促進パンフレットの作成、全戸配布 夏休み小学生50円バスを実施 東三河バス整理券引- & 謎解きゲームを実施 田原市内高校生への定期券購入助成 福祉回数券等の交付 免許返納者へ豊鉄バス元気バス引換券の交付 広報紙、イベント等で利用促進のPR	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標: 71,513 実績: 58,525 達成率: 81.8%	B	35.7	26.0	2.5	10.4	40.9	32.1	旧市町村を跨いでの利用が利用者のほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用、沿線高校への通学利用が大部分と考えられるほか、日中は高齢者の田原市街地での買い物で利用されている。	バスロケーションシステムのPR 田原市内高校生への定期券購入助成の継続 中高校生にパンフレット配布
02豊橋 11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	30	新豊	豊橋駅前 ～ 新城富永	複合行政施設オープンの記念きっぷを発売 「豊橋まちなかおでかけきっぷ」を発売 地域密着型の時刻表を配布 夏休み小学生50円バスを実施 東三河バス整理券引- & 謎解きゲームを実施 コミュニティマップ及びHPに時刻表を掲載 マイバス時刻表を実施	新型コロナウイルス感染症の影響により必要な乗務員の確保が困難となったため令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標: 116,679 実績: 104,779 達成率: 89.8%	B	31.9	27.0	3.0	9.0	39.7	32.0	市域を跨いでの利用が利用者の約1/4を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用、買い物や豊川市市民病院への通院利用が大部分と考えられるほか、新城市から乗り換えなしで豊川市民病院や大型商業施設へ行くことができる路線であるため、通院や買い物に利用されている。	大型商業施設開業に合わせた路線等再編 バスロケーションシステムのPR 大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 MaaS推進による利便性の向上 接続するフィーダー系統のダイヤ改正
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	31	伊良湖本線 (豊橋保美)	豊橋駅前 ～ 保美	複合行政施設オープンの記念きっぷを発売 「豊橋まちなかおでかけきっぷ」を発売 夏休み小学生50円バスを実施 東三河バス整理券引- & 謎解きゲームを実施 渥美営業所見学の実施、福祉回数券等の交付 利用促進パンフレットの作成、全戸配布 田原市内高校生への定期券購入助成を実施 免許返納者へ豊鉄バス元気バス引換券の交付 広報紙、イベントで利用促進のPR	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標: 73,135 実績: 56,949 達成率: 77.9%	B	26.4	18.9	2.4	7.9	35.8	28.5	旧市町村を跨いでの利用が利用者の半数以上を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、渥美病院への通院や豊橋駅、田原駅への鉄道利用、沿線高校への通学利用が大部分と考えられるほか、日中は高齢者の田原市街地での買い物で利用されている。	バスロケーションシステムのPR MaaS推進による利便性の向上 田原市内高校生への定期券購入助成の継続 中高校生にパンフレット配布
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	32	伊良湖本線 (渥美病院 田原駅前保美)	渥美病院 ～ 保美	「渥美営業所見学」の実施 利用促進パンフレットの作成、全戸配布 夏休み小学生50円バスを実施 東三河バス整理券引- & 謎解きゲームを実施 田原市内高校生への定期券購入助成を実施 福祉回数券等の交付 免許返納者へ豊鉄バス元気バス引換券の交付 広報紙、イベントで利用促進のPR	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標: 43,280 実績: 49,525 達成率: 114.4%	A	25.2	25.5	3.7	6.9	72.1	52.0	旧市町村を跨いでの利用が利用者の多くを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用、沿線高校への通学利用が大部分と考えられるほか、日中は高齢者の田原市街地での買い物で利用されている。	バスロケーションシステムのPR 田原市内高校生への定期券購入助成の継続 中高校生にパンフレット配布
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	33	豊川 (豊川駅前)	豊橋駅前 ～ 豊川駅前	複合行政施設オープンの記念きっぷを発売 「豊橋まちなかおでかけきっぷ」を発売 地域密着型の時刻表を配布 夏休み小学生50円バスを実施 東三河バス整理券引- & 謎解きゲームを実施 コミュニティマップ及びHPに時刻表を掲載	新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため令和4年8月の平日を土休日ダイヤ・令和4年9月の平日を平日ダイヤにて運行したが、それ以外、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標: 35,011 実績: 36,471 達成率: 104.2%	A	16.2	15.3	2.7	5.7	48.6	47.9	市域を跨いでの利用が利用者の約3割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用者が大部分と考えられる。主に豊橋市・豊川市への通勤、買い物、通院などの移動手段として住民の生活の足として利用されている。	大型商業施設開業に合わせた路線等再編 バスロケーションシステムのPR 大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 MaaS推進による利便性の向上 接続するフィーダー系統のダイヤ改正
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	34	豊川 (豊川市民病院 豊川駅前)	豊橋駅前 ～ 豊川市民病院 ～ 豊川駅前	複合行政施設オープンの記念きっぷを発売 「豊橋まちなかおでかけきっぷ」を発売 地域密着型の時刻表を配布 夏休み小学生50円バスを実施 東三河バス整理券引- & 謎解きゲームを実施 コミュニティマップ及びHPに時刻表を掲載	新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標: 105,480 実績: 107,332 達成率: 101.8%	A	39.0	34.8	2.7	12.9	52.7	45.9	市を跨いでの利用が利用者の約3割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤・通院利用者が大部分と考えられる。豊橋市・豊川市への通勤、買い物、通院などの移動手段として住民の生活の足として利用されている。	大型商業施設開業に合わせた路線等再編 バスロケーションシステムのPR 大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 MaaS推進による利便性の向上 接続するフィーダー系統のダイヤ改正

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】		輸送量(人)			収支率(%)			
							A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず	R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	35 豊川 (豊川市民病院)	豊橋駅前 ～ 豊川市民病院	・複合行政施設オープン記念きっぷを発売 ・「豊橋まちなかおでかけきっぷ」を発売 ・地域密着型の時刻表を配布 ・夏休み小学生50円バスを実施 ・東三河バス整理券列&謎解きゲームを実施 ・コミュバスマップ及びHPに時刻表を掲載	A 新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外には、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：37,235 実績：33,581 達成率：90.2% 前年度比約3割減の利用者数となり、また路線全体では、感染症の影響で不要不急の外出を控えられたことにより、減少傾向にある。	23.0	15.1	2.8	5.4	66.9	48.6	市を跨いでの利用が利用者の3割超え、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤・通院・買い物利用者が大部分と考えられる。主に豊橋市・豊川市への通勤、買い物、通院などの移動手段となっており、住民の生活の足として利用されている。	・大型商業施設開業に合わせた路線等再編 ・バスロケーションシステムのPR ・大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 ・MaaS推進による利便性の向上 ・接続するフィーダー系統のダイヤ改正
01名古屋 05瀬戸・日進・豊明 11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	36 新城名古屋 藤が丘線	新城市民病院西 ～ 長久手古戦場駅	・道の駅もつくる新城(正面)に乗り入れ ・ダイヤ改正を実施、回数券の発売 ・行楽シーズンにあわせた新聞広告を掲載 ・転入者用冊子へ交通エコライフに記事掲載 ・新城市運賃助成キャンペーンの実施 ・藤が丘商店街イベントでのPR ・回数券の販売所の増設 ・バスマップへの掲載、市広報での特集 ・観光目的の企画切符の継続販売	A 補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：7,650 実績：15,662 達成率：204.7% 沿線市にて実施した利用促進キャンペーンにより、新規利用者の増加につながったと考えられる。	21.3	16.2	5.6	2.9	21.8	36.0	高速乗合バスとして新城市と名古屋及び長久手市を結ぶ路線で、すべての利用者が市を跨ぐ利用をしており広域的な路線の役割を果たしており、新城市から名古屋への通勤・通学や名古屋から新城市への観光に利用されている。新城市と名古屋、長久手市を結ぶ路線として、通勤、通学、通院、買い物などの生活に必要な移動手段になっている。	・ジブリパークへの移動手段として周知 ・交通エコライフの取組推進 ・定期券の導入を検討 ・観光施設と連携した企画切符の発売検討 ・沿線市等と連携した路線の最適化 ・イベント等での周知
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	37 半田・常滑 (A)	知多半田駅 ～ 青山駅前 ～ 常滑駅	・広報等に路線時刻表を掲載 ・沿線施設等に路線の周知 ・燃料高騰対策として補助事業を実施 ・イベントでの情報発信 ・高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 ・バスロケーションシステムの継続 ・官民共通の運賃上限制度を継続 ・高齢者等を対象とした運賃助成制度を継続 ・時刻表を市民病院や市役所窓口等に設置	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	B 目標：37,435 実績：23,773 達成率：63.5% 昼間時間帯を中心にコロナ禍以降の利用者数の回復が進まないため。	26.6	10.5	2.3	4.6	48.4	28.2	市域をまたぐ利用がおよそ3割を占め、知多半田駅及び常滑駅において鉄道線への乗り換え利用があるなど、広域的な路線の役割を果たしている。鉄道への乗り換えや通学のほか、買い物など様々な日常生活の移動手段として利用されている。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・期間限定での無料乗車キャンペーンを実施 ・県の実施する利用促進事業への協力 ・広報誌、市HPを活用した利用促進 ・コミュバスとの接続改善による利便性向上
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	38 半田・常滑 (D)	知多半田駅 ～ りんくう常滑駅 ～ 旅客ターミナルビル	・広報等に路線時刻表を掲載 ・沿線施設等に路線の周知 ・燃料高騰対策として補助事業を実施 ・イベントでの情報発信 ・高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 ・バスロケーションシステムの継続 ・官民共通の運賃上限制度を継続 ・高齢者等を対象とした運賃助成制度を継続 ・時刻表を市民病院や市役所窓口等に設置	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	A 目標：87,177 実績：106,879 達成率：122.6% この系統が運行する時間帯の利用者に回復傾向がみられるため。	34.4	24.0	3.0	8.0	34.5	30.5	市域をまたぐ利用がおよそ2割弱を占め、知多半田駅及び常滑駅において鉄道線への乗り換え利用があるなど、広域的な路線の役割を果たしている。空港で勤務する従業員の通勤路線としての利用があるなど、通勤、通学に利用されている。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・期間限定での無料乗車キャンペーンを実施 ・県の実施する利用促進事業への協力 ・広報誌、市HPを活用した利用促進 ・コミュバスとの接続改善による利便性向上
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	39 半田・常滑 (N)	日本福祉大学 ～ 知多半田駅 ～ 常滑市民病院	・広報に時刻表を掲載、沿線施設に周知 ・燃料高騰対策として補助事業を実施 ・イベントでの情報発信 ・高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 ・バスロケーションシステムの継続 ・官民共通の運賃上限制度を継続 ・高齢者等を対象とした運賃助成制度を継続 ・時刻表を市民病院や市役所窓口等に設置 ・常滑駅～常滑市民病院をコミュバス化	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	A 目標：50,670 実績：79,285 達成率：156.5% この系統が運行する時間帯の利用者に回復傾向がみられるため。	23.0	28.8	8.0	3.6	51.5	57.7	市域をまたぐ利用がおよそ2割弱を占め、知多半田駅及び常滑駅において鉄道線への乗り換え利用があるなど、広域的な路線の役割を果たしている。日本福祉大学の学生が通学のために利用するほか、沿線にある医療機関へ利用する住民が多い。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・期間限定での無料乗車キャンペーンを実施 ・県の実施する利用促進事業への協力 ・運営主体と連携した新規利用者獲得の取組
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	40 常滑南部 (B)	常滑市民病院 ～ 常滑駅 ～ 上野間駅	・広報等に時刻表を掲載、沿線施設等に周知 ・高齢者等に対する運賃助成制度を継続 ・ダイヤ変更時に時刻表を市民病院等に設置 ・R4.10.1から常滑市のコミュバス化	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	A 目標：44,126 実績：60,603 達成率：137.3% 日中の利用者が回復傾向にあるため。	26.0	23.0	2.3	10.0	33.0	28.4	大半の旅客は常滑市内の利用であるが、市町を跨ぐ利用が一定数あり、広域的な路線の役割を果たしている。常滑市南部、美浜町の住民が常滑市中心部(駅、常滑市民病院、大型商業施設)へ向かうために利用している。	2022年9月末廃線 10月1日より常滑市のコミュニティバスグループに置換え。
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	41 師崎	河和駅 ～ 師崎港	・広報等に時刻表を掲載、沿線施設等に周知 ・広報誌等によるPR、町民感謝デー等を実施 ・地域団体と連携し高齢者への東方教室を企画 ・路線再編のため関係機関、住民と検討を開始 ・小中学生の利用促進事業を実験的に開始	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	A 目標：59,720 実績：69,719 達成率：116.7% 当初の想定より、コロナ禍以降の利用者数の回復がみられたため。	48.5	33.5	2.3	14.6	29.8	22.3	両町を跨ぐ利用がおよそ7割にのぼり、広域的な路線の役割を果たしている。名鉄河和駅や病院の利用者が多い。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・南知多町海ッ子バスと運行を一体化 ・美浜町の運行見直しの時期に合わせて検討

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)					
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】		輸送量(人)			収支率(%)							
							A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず		R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数			R3実績	R4実績			
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	42	横須賀(A)	大府駅前 ～ 尾張横須賀駅	・広報等に時刻表を掲載、沿線施設等に周知 ・コミュニティバス路線図に路線バスの路線を明示 ・コミュニティバスと路線バスの時刻表を併せて配布 ・コミュニティバス路線図・時刻表に乗継箇所を明示	A	事業計画どおり運行回数が増えている。	目標：55,347 実績：76,105 達成率：137.5%	A	当初の想定より、コロナ禍以降の利用者数の回復がみられたため。	49.6	43.7	3.5	12.5	54.1	47.0	市域を跨ぐ利用がおよそ5割にのぼり、広域的な路線の役割を果たしている。知多バス上野台線と共に、東海市と大府市を結ぶ重要な公共交通手段であり、高等学校近くに停留所があることや、鉄道駅へ接続していることにより通勤・通学利用者が多い。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・コミュニティバスと相互利用可能なダイヤを検討 ・PR活動の継続 ・沿線自治体と利用者増加策の検討
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多市	知多乗合(株)	43	あいあいバス(北部循環コース)	朝倉駅 ～ 朝倉駅(循環)	・HPにバスロケ紹介ページを作成 ・バス停にバスロケ用QRコードを掲載 ・バスマップの内容見直し ・高齢者にバスロケ講習会の実施 ・HPでの乗継案内 ・市役所等において時刻表を配架 ・バスロケ表示ディスプレイの運用	A	計画通り運行した。	目標：51,000 実績：56,472 達成率：110.7%	A	新型コロナウイルスによる利用者の減少が収まり、利用者数が回復傾向にあるため。	19.6	23.5	2.4	9.8	5.8	6.4	知多市東部地区の住民は、隣接する東海市や阿久比町に生活圏があり、通院、買い物など日常生活の移動手段として利用されている。特に東海市にある公立西知多総合病院の利用が多い。乗り継げるバス停が増えたため、相互利用による住民の往来が増えている。	・バスロケーションシステム導入のPR ・システムを活用した利用実態の把握 ・乗り方教室の開催、啓発チラシの配布 ・他市町のコミュニティバスとの相互利用可能なダイヤを検討 ・阿久比町役場において時刻表を配架
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	44	岡崎・西尾(背野)	東岡崎(藤田医大) ～ 下青野 ～ 西尾	・R4.4.1にダイヤ改正実施 ・六ツ美地区チョイソコ運行への協力 ・経路検索事業者に駅探を追加 ・公共交通マップの作成・配布 ・デマンド型乗合タクシーでの乗継割引 ・コロナ禍での安心安全なバス利用のPR ・月3,000円の「スクールバス」を発行	B	12月14日に東岡崎発西尾行きにおいて、戸崎町バス停を早発、12月17日に西尾発藤田医大行きにおいて井内農協前バス停を通過したことが判明したため、それぞれ該当便を運休とした。	目標：133,200 実績：121,244 達成率：91.0%	B	コロナの影響がまだ残っているほか、利便性の向上した市民病院系統に流れた可能性も考えられる。	52.1	46.9	2.9	16.3	46.6	45.1	東岡崎駅又は藤田医大からJR岡崎駅を經由して西尾市中心部へ至る市域を跨ぐ路線であり、通勤、通学、通院等の移動手段として利用されるなど、地域住民の日常生活における交通手段となっている。また、岡崎市の沿線商業施設への買い物利用など広域的な利用も見られる。	・道路状況の把握による定時運行確保 ・ダイヤ等の検討を継続 ・公共交通マップの作成・配布等 ・デマンド型乗合タクシーとの乗継の周知 ・感染対策等の安全性の周知 ・公共交通の利用講座等を開催
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	45	岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎駅西口 ～ 西尾市民病院 ～ 西尾	・R4.4.1ダイヤ改正実施 ・公共交通マップの作成・配布 ・総合時刻表を作成 ・コロナ禍での安心安全なバス利用のPR ・月3,000円の「スクールバス」を発行	A	事業計画通りの運行ができた。	目標：61,020 実績：77,001 達成率：126.2%	A	ダイヤ改正効果による利便性向上の可能性が考えられる	31.3	33.3	2.9	11.6	46.8	51.7	JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ市域を跨ぐ路線である。沿線には藤田医大病院、西尾市民病院、西尾東高校があり通勤、通学、通院の足として地域住民の移動手段となっている。また、岡崎市の沿線商業施設への買い物利用など広域的な利用も見られる。	・道路状況の把握による定時運行確保 ・ダイヤ等の検討を継続 ・公共交通マップの作成・配布等 ・デマンド型乗合タクシーとの乗継の周知 ・感染対策等の安全性の周知 ・公共交通の利用講座等を開催
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	46	一色	西尾(西尾市民病院) ～ 福地 ～ 一色町公民館	・R4.4.1ダイヤ改正実施 ・沿線の従事及び道路状況の情報収集 ・市内の公共交通を網羅したマップを作成 ・総合時刻表を作成 ・Googleマップなどへの路線情報の反映 ・コロナ禍における安心安全なバス利用のPR ・月3,000円の「スクールバス」を発行	A	事業計画通りの運行ができた。	目標：71,944 実績：81,143 達成率：112.8%	A	観光キャンペーン効果 ダイヤ改正の効果	22.8	33.2	3.2	10.3	37.3	87.9	一色地区と西尾市中心部を結ぶ路線であり、地域住民の日常生活における交通手段となっている。通勤、通学や日中の通院のほか、西尾駅で鉄道から乗り換え久島へ向かう観光客など、一色地区と西尾市中心部を跨る利用が多く見られる。	・いこいの圏内への路線延長の検討 ・さかな広場への増便の検討 ・道路状況の把握による定時運行確保 ・観光PR等による利用促進
01名古屋 07小牧・犬山・江南	あおい交通(株)	あおい交通(株)	47	豊山幸田・勝川	勝川駅前 ～ 豊山・幸田	・広報やHP等でPR ・コロナ禍の安心・安全なバス利用をPR ・路線図、時刻表を配布 ・公共交通マップを更新・作成 ・イベント等で公共交通利用促進のPR	A	事業計画通りの運行ができた。	目標：55,000 実績：60,379 達成率：109.8%	A	後半は緊急事態宣言が解除され外出や航空機利用者が増えたため。	38.1	36.3	2.2	12.2	42.5	59.2	豊山町と春日井市をまたぐ利用が大半を占めており、両市町を結ぶ広域的な路線の役割を果たしている。	・公共交通マップの配布先拡大 ・収支率を1%向上 ・利用促進の継続実施
01名古屋	豊山町	あおい交通(株)	48	タウンバス(南ルート)	航空館boon(豊山町) ～ 名古屋栄(名古屋市)	・公共交通マップを転入者へ配布 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事掲載	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標：57,500 実績：50,336 達成率：87.5%	B	移動制限が緩和されたが、生活様式の変化に伴い移動自体が減少したため、目標達成には至らなかった	24.7	23.6	2.0	10.5	32.0	28.3	市町を跨いでの利用が大半を占め、広域的な路線の役割を果たしている。豊山町民の名古屋市への利用の他、名古屋市民の豊山町への通勤利用がある。豊山町内または名古屋市内のみの利用はほとんどない。	・あらゆる機会を用いてPRの実施 ・利用者ニーズに対応した改善や見直し ・交通エコライフの取組推進

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			〔計画目標指標：利用者数〕		輸送量(人)			収支率(%)				
							A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず	R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績	
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	49	おいでんバス(藤岡・豊田線)(加納経由)	藤岡支所 ～ 豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A	目標:67,847 実績:82,754 達成率:122.0%	35.0	36.9	3.3	11.3	37.8	31.4	市町村(合併以前)を跨いでの利用者は全体の約4割であり、市外から市中心部への通勤・通学手段として利用されていることがわかる。また、昼間時においても、市外から市中心部への利用が一定数みられ、生活交通として重要な役割を果たしている。	・観光資源と連携した利用促進策の検討 ・高齢者定期券の普及
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	50	おいでんバス(下山・豊田線)	大沼 ～ 鶯ヶ瀬 ～ 豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続実施 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A	目標:139,429 実績:129,972 達成率:93.2%	61.4	73.0	6.3	11.6	35.5	54.8	地域を跨いでの利用者は、昨年度より増加して約3割程度であり、中山間地域から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。	・1日乗車券の販売を検討 ・イベントでの周知活動や利用促進策を検討
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	51	おいでんバス(さなげ・足助線)	豊田厚生病院 ～ 百年草	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・各種イベントへの参加 ・広瀬やなでのドリンクサービス ・バス情報のGTFS化の継続実施 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A	目標:143,055 実績:159,084 達成率:111.2%	57.0	68.0	4.2	16.2	37.8	34.6	地域を跨いでの利用者の割合が1/4程度にとどまっていた昨年度と比べ、今年度は約1/3までに増加しており、中山間地域からの通勤・通学手段以外にも、鉄道駅と観光地を結ぶ路線として、重要な役割を果たしている。	・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討
05瀬戸・日進・豊明	尾張旭市	豊栄交通(株)	52	尾張旭市営バス(東ルート)	市役所 ～ イトーヨーカドー前 ～ 市役所	・利用者懇談会及びアンケートの実施 ・ルートマップを転入者用パンフレットに同封 ・ルートマップを商業施設や病院に配布 ・GTFSデータを更新 ・関係市との意見交換及び現状の情報共有 ・他市の公共交通マップにダイヤ掲載 ・乗り継ぎ便を把握しやすくした ・イベントで公共交通利用促進を実施	A	目標:100,000 実績:101,088 達成率:101.1%	63.4	64.9	4.3	15.1	15.9	14.8	市域を跨いでの利用が全体の7.7%を占め、広域的な路線の役割を果たしている。商業施設や各鉄線駅三軒駅周辺への移動手段として、また、愛知医科大学への通院利用もある。愛知医科大学は通院利用のほか、バスロータリーが併設され、隣接市のコミュニティバスや名鉄バスも乗り入れており、交通結節点としての機能も有する。	・利用ニーズに沿った運行計画の再編を検討 ・市イベント等で周知 ・近隣自治体との情報共有 ・HPを活用した乗車情報等の提供 ・尾張旭市等と連携し路線の最適化を図る ・市主催のイベント等で周知を行う
05瀬戸・日進・豊明	尾張旭市	豊栄交通(株)	53	尾張旭市営バス(西ルート)	市役所 ～ 印場駅 ～ 市役所	・利用者懇談会及びアンケートの実施 ・ルートマップを転入者用パンフレットに同封 ・ルートマップを商業施設や病院に配布 ・GTFSデータを更新 ・関係市との意見交換及び現状の情報共有 ・他市の公共交通マップにダイヤ掲載 ・乗り継ぎ便を把握しやすくした ・イベントで公共交通利用促進を実施	A	目標:110,000 実績:110,112 達成率:100.1%	73.9	77.0	5.1	15.1	17.0	16.6	市域を跨いでの利用が全体の11.6%を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。名鉄瀬戸線への移動手段のほか、愛知医科大学への通院利用がある。愛知医科大学は通院利用のほか、バスロータリーが併設され、隣接市のコミュニティバスや名鉄バスも乗り入れており、交通結節点としての機能も有する。	・利用ニーズに沿った運行計画の再編を検討 ・市イベント等で周知 ・交通エコライフの取組推進 ・尾張旭市等と連携し路線の最適化を図る ・市主催のイベント等で周知を行う
01名古屋 08津島・あま・弥富	飛島村	三重交通(株)	54	飛島公共交通バス(名港線①)	名古屋港 ～ 名古屋港(循環)	・新型コロナ感染防止対策の周知 ・ICカード導入について飛島村HPに掲載 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事掲載	A	目標:61,000 実績:46,261 達成率:75.8%	33.1	28.8	4.0	7.2	35.5	34.4	臨海地域の企業従業員及び訪問者は、飛島村以外からの通勤者・訪問者がほとんどである。地下鉄「名古屋港駅」「築地口駅」あおなみ線「稲永駅」とを結び、広域的な路線の役割を果たしている。名古屋から飛島村への通勤手段として利用されている。	・イオンモール茶屋店へ経由する便を検討 ・交通系ICカードについて広報等で周知 ・交通エコライフの取組推進
01名古屋 08津島・あま・弥富	飛島村	三重交通(株)	55	飛島公共交通バス(名港線②)	公民館分館 ～ 名古屋港	・新型コロナ感染防止対策の周知 ・ICカード導入について飛島村HPに掲載 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事掲載	A	目標:48,800 実績:35,435 達成率:72.6%	18.0	14.4	3.2	4.5	32.8	31.8	臨海地域の企業従業員及び訪問者は、飛島村以外からの通勤者・訪問者がほとんどである。地下鉄「名古屋港駅」「築地口駅」あおなみ線「稲永駅」とを結び、広域的な路線の役割を果たしている。名古屋から飛島村への通勤手段として利用されている。	・イオンモール茶屋店へ経由する便を検討 ・交通系ICカードについて広報等で周知 ・交通エコライフの取組推進

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			[計画目標指標:利用者数]		輸送量(人)			収支率(%)			
							A:達成	B:未達成	R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数			R3実績
08津島・あま・弥富	飛鳥村	三重交通(株)	56 飛鳥公共交通バス(蟹江線①)	近鉄蟹江駅前～公民館分館	・R3.4からICカードを導入 ・住民意見交換会を開催 ・沿線で行われるイベントをPR	A 計画通りの運行であった。	A 目標:116,200 実績:121,346 達成率:104.4% ICカードシステムの導入による利便性の向上。	78.6	69.5	3.8	18.3	46.4	47.5	近鉄蟹江駅を利用する通勤通学者が大多数を占める。近鉄蟹江駅から弥富市内、飛鳥村内の企業への通勤利用が多いほか、沿線住民の名古屋市方面への通勤・通学・買い物等の利用もあり、広域的な路線の役割を果たしている。	・HP、チラシへの配布 ・イベント時のPR活動実施 ・利便性向上のための公共交通網再編 ・沿線イベントや行事のPR ・他の交通機関との連携を強化
08津島・あま・弥富	飛鳥村	三重交通(株)	57 飛鳥公共交通バス(蟹江線②)	近鉄蟹江駅前～新成政神社	・R3.4からICカードを導入 ・住民意見交換会を開催 ・沿線で行われるイベントをPR	A 計画通りの運行であった。	B 目標:33,200 実績:23,399 達成率:70.5% 新型コロナウイルスの影響による通勤利用者の減	17.9	16.1	3.5	4.6	46.5	47.6	近鉄蟹江駅を利用する通勤通学者が大多数を占める。近鉄蟹江駅から弥富市内、飛鳥村内の企業への通勤利用が多いほか、沿線住民の名古屋市方面への通勤・通学・買い物等の利用もあり、広域的な路線の役割を果たしている。	・HP、チラシへの配布 ・イベント時のPR活動実施 ・利便性向上のための公共交通網再編 ・沿線イベントや行事のPR ・他の交通機関との連携を強化
10豊田	みよし市	愛知つばめ交通(株)	58 さんさんバス(拠点連携線)	豊田厚生病院～みよし市民病院	・待合環境の整備 ・バス乗り方教室を開催 ・キャッシュレス決済(PayPay)の導入 ・豊田市バスマップに時刻表掲載 ・豊田厚生病院内の情報案内板に時刻表を掲示	A 補助対象期間の開始日から、台風の影響による一部運休はあったものの、大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行ができています。	B 目標:124,897 実績:117,850 達成率:94.4% 路線再編に伴うバス停停車数の減少や新しい生活様式の定着等によるため。	56.3	36.8	2.3	16.0	16.8	10.9	市域を跨いでの利用が利用者全体の約1割強を占め、みよし市内から豊田厚生病院への通院及び浄水駅利用者が大部分と考えられる。また、浄水駅からみよし市内の商業施設等への利用もあり、広域的な路線の役割を果たしている。	・待合環境の整備 ・豊田市バスマップへの掲載 ・豊田厚生病院内に路線情報を掲示
10豊田	みよし市	愛知つばめ交通(株)	59 さんさんバス(三好黒笹線)	黒笹駅～イオン三好アイ・モール	・待合環境の整備 ・バス乗り方教室を開催 ・キャッシュレス決済(PayPay)の導入 ・豊田市バスマップに時刻表掲載 ・豊田厚生病院内の情報案内板に時刻表を掲示	A 補助対象期間の開始日から、台風の影響による一部運休はあったものの、大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行ができています。	A 目標:103,746 実績:117,071 達成率:112.8% 路線再編に伴う路線変更及び運行回数の増加のため。	60.9	46.5	3.1	15.0	14.0	12.8	市域を跨いでの利用が利用者全体の約1割強を占め、みよし市内から豊田厚生病院への通院及び浄水駅利用者が大部分と考えられる。また、浄水駅からみよし市内の商業施設等への利用もあり、広域的な路線の役割を果たしている。	・待合環境の整備 ・豊田市バスマップへの掲載 ・豊田厚生病院内に路線情報を掲示
09刈谷・安城・碧南・西尾 10豊田	豊田市	高岡ふれあいバス 運行共同企業体	60 高岡ふれあいバス(路線②)	上丘町～高岡公園～知立駅	・前林地域での学生定期券購入補助継続実施 ・利便性向上に向けたダイヤ改正の実施 ・走行経路の検討 ・高齢者に対する回数券購入補助の実施	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されています。	A 目標:73,213 実績:87,328 達成率:119.3% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	31.6	31.9	2.2	14.4	24.3	24.6	市町村を跨いでの利用者が93.3%と非常に高い割合となっていることから、生活に欠かせない幹線系統としての役割を果たしている。	・利用目的・時間に応じた走行経路の検討 ・専門家への相談の実施 ・住民アンケートの実施 ・実証実験の実施 ・知立市ミニバスの乗り継ぎ連携 ・乗り継ぎモデルコースの作成
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	東伸運輸(株)	61 あんくるバス(東部線)	北部福祉センター～JR安城駅～北部福祉センター	・夏休み小学生無料乗車キャンペーンの再開 ・無料乗車キャンペーンの対象拡大 ・車内掲示、HP等での感染対策の周知 ・外国語版の時刻表・マップの作成・配布 ・バスロケーションシステムによる情報提供 ・多客期等に主要バス停へのバス案内人の配置	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されています。	B 目標:33,000 実績:23,613 達成率:71.6% 移動制限が緩和され回復傾向だが、生活様式の変化に伴い移動自体が減少したため、目標達成には至っていない	26.9	26.9	3.9	6.9	9.7	13.1	市域を跨ぐ利用者は183人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしている。安城市内の病院への通院や、JR安城駅で鉄道に接続する通勤・通学に利用されている。	・バスロケータを活用した利便性向上 ・観光施策と連携した利用促進 ・バス乗り方教室等による利用促進 ・地域住民とのヒアリングや懇談会の実施 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・感染対策等の安全性の周知
06東海・半田・大府・常滑・美浜	南知多町	レスクル(株)	62 海っ子バス(豊浜線)	師崎港～河和駅	・HP、広報誌を活用したPR ・町民感謝デー等を実施 ・地域団体と連携した高齢者乗り方教室を企画 ・路線再編に向け関係機関、住民と検討開始 ・小中学生の利用促進事業を実験的に開始 ・目的地に合わせた利用の周知	A 事業計画どおり運行回数が確保されている	A 目標:71,100 実績:80,565 達成率:113.3% コロナによる行動制限の緩和。	25.4	24.0	1.5	16.0	22.3	29.9	町域を越えての病院への通院や河和駅への利用者が多く、広域的な路線の役割を果たしている。	・路線及び運賃の見直しを実施

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)			
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績		
06東海・半田・大府・常滑・美浜	武豊町	フジキュー整備(株)	63	ゆめころん(赤ルート) 武豊町役場 ～ イオン半田店 ～ 武豊町役場	<ul style="list-style-type: none"> 無料乗車券及び回数券発行を開始 新型コロナ対策の実施 地域公共交通計画を策定 制度の改正に伴い、新たな時刻表を作成 住民団体と協力し、停留所ベンチを製作 イベントを活用した関係市町相互の情報発信 高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 バスロケーションシステムの継続 接続するコミュニティバスの運賃改定 	A 補助対象期間の開始日から、天候等による影響以外での運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：38,100 実績：41,667 達成率：109.4% 新型コロナウイルス「第6波」の期間中は他の月と比べ、利用者数が減少したが、「金銭を控える、マスク着用」等の案内掲示等を実施し、金銭を控えて頂くことで安心してご利用いただけるようになり、その後の期間は回復傾向であった。	18.4	48.6	5.4	9.0	9.4	37.7	<p>半田市の大型商業施設と鉄道駅に接続する停留所を設けたことで行政境を跨ぐ広域的な交通網が形成され、利用者の2割以上が行政境を跨ぐ利用をしている。この2ヶ所の停留所の設置のほか、交通結節点となる駅にはバスケルターを設置しており利用者の増加・定着に寄与している。今後も広域的な交通網としての確保維持が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料乗車券等の利用促進事業実施 金銭を控える等の新型コロナ対策の呼びかけ 安全な公共交通利用に関するPR 運転免許証の自主返納の呼びかけ 公共交通を活用する生活対応への転換の呼びかけ 新時刻表の配布、若年層への利用呼びかけ 車内の抗菌・抗ウイルス加工の実施 住民団体と連携し、乗車機会拡大の為の企画の実施 バス情報のGTFS化、乗車情報等の発信強化
05瀬戸・日進・豊明	東郷町	瀬戸自動車運送(株)	64	じゅんかい君(北コース) ららぽーと愛知東郷 ～ 日進駅 ～ ららぽーと愛知東郷	<ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設と連携イベントを実施 尾三地区管内の担当者会議を開催 利用促進イベントを近隣市町の広報に掲載 バスロケーションシステムの運用 検索サービス事業者にGTFSデータの提供 日進市市役所窓口等で路線図・時刻表を配布 	A 補助対象期間の開始日から、運休もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：86,648 実績：101,692 達成率：117.4% 新型コロナウイルスに係る規制や認識の変化によるため。	15.6	33.5	1.5	22.6	10.6	10.7	<p>市町を跨いでの利用が利用者の26.5%を占め、広域的な路線の役割を果たしている。日進駅に接続することにより通勤通学のほか、日進市含め東郷町外から東郷町内の商業施設への買い物などの移動需要に対応しており、広域移動を確保する重要な路線である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設と連携イベントを実施 他市町広報掲載、HP、SNS等による広報 窓口での路線図・時刻表の配布 日進市HP等での巡回バスとの乗継事例紹介

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年 1月 日

協議会名：	愛知県バス対策協議会
-------	------------

評価対象事業名：	陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）
----------	--------------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	鉄軌道網の整備が進み基幹的公共交通網は維持されているが、自動車分担率が高い地域であることを踏まえた上で、複数市町村を跨ぐ広域的・幹線的な公共交通網の維持・確保を図る。 実施に当たっては、乗合バス事業者等運営主体と沿線市町村が協力して目標設定、利用促進、利便性・生産性向上検討を行い、事業評価にあたっては、運営主体、沿線市町村が情報交換、意見交換を行って、路線の状況を共有化。
-----------------------------	--